

# 中小企業における喫煙の現状及び対策について (全国健康保険協会データより)

---



令和8年5月31日

全国健康保険協会東京支部  
保健部長 町田 恵子

## <目次>

1. 協会けんぽ（東京支部）の概要
2. 協会けんぽにおける喫煙の現状
3. 喫煙対策について

## <目次>

1. 協会けんぽ（東京支部）の概要
2. 協会けんぽにおける喫煙の現状
3. 喫煙対策について

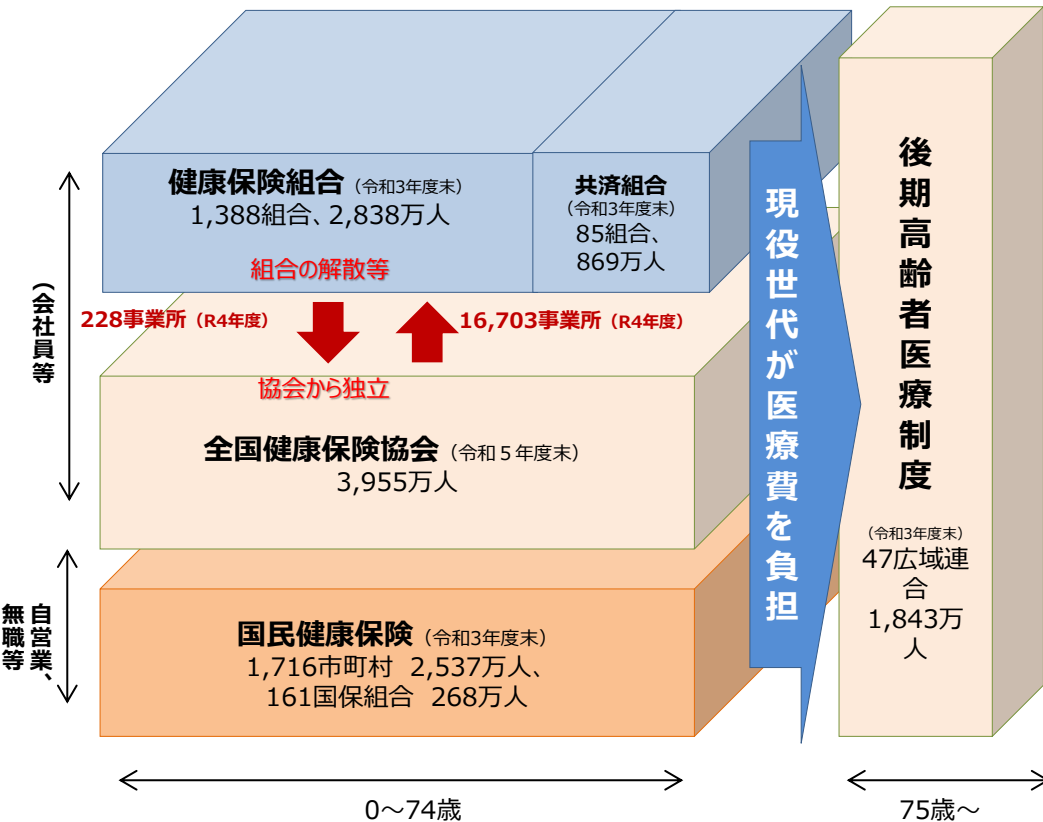
# 全国健康保険協会（協会けんぽ）について

沿革	平成20年10月に政府管掌健康保険を引き継ぎ、健康保険法に基づき設立された公法人
設立根拠法	健康保険法（大正11年法律第70号）
組織	本部と47支部（都道府県ごとに1支部）で構成 都道府県毎での運営
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・保険運営の企画</li><li>・保険給付（保険給付、任意継続被保険者業務等）</li><li>・保健事業 等</li></ul>
加入者数 (令和6年度末時点)	<ul style="list-style-type: none"><li>・加入事業所数：276万事業所</li><li>・加入者数：3,971万人</li></ul>

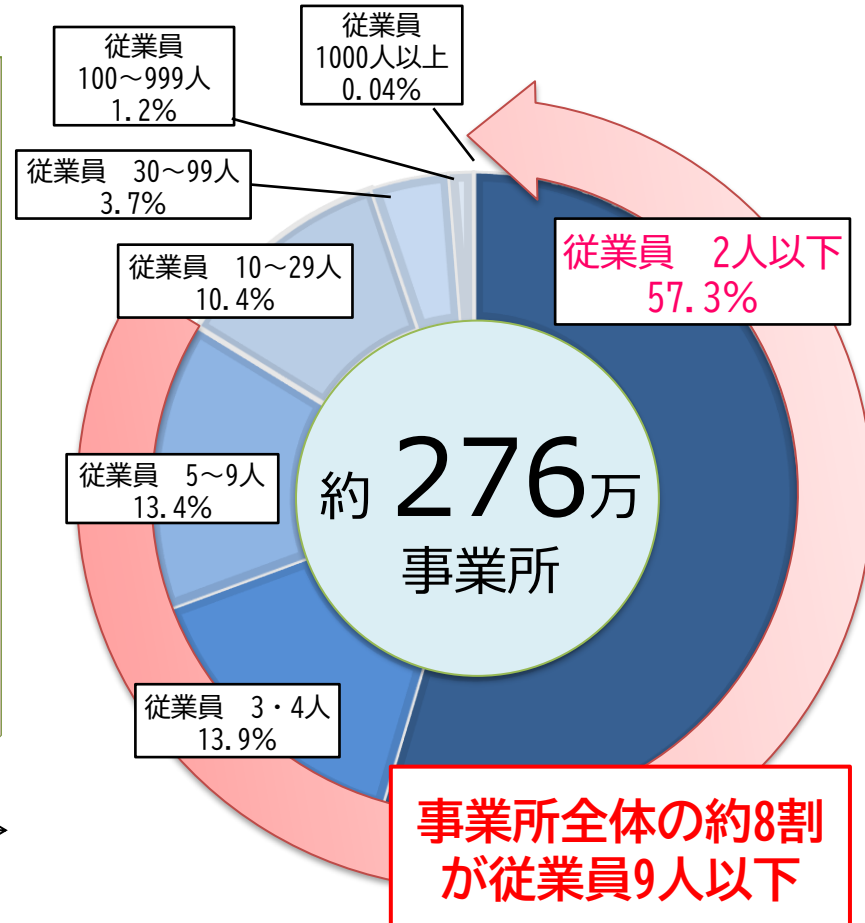
# 協会けんぽの規模について

- 全国276万事業所、3,971万人（国民の3.2人に1人）が加入する**日本最大の医療保険者**
- 中小・小規模企業が多く、**事業所全体の約8割が従業員9人以下**  
 → 全国健康保険協会は、サラリーマンの医療保険の最後の受け皿となっている。

## 保険者の位置づけ



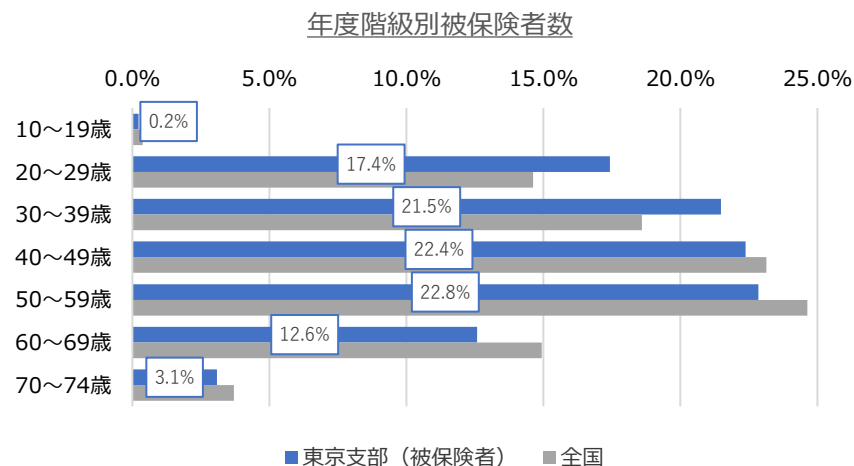
## 協会の事業所規模別構成 (令和6年度末)



# 協会けんぽ東京支部加入者数（令和6年度）

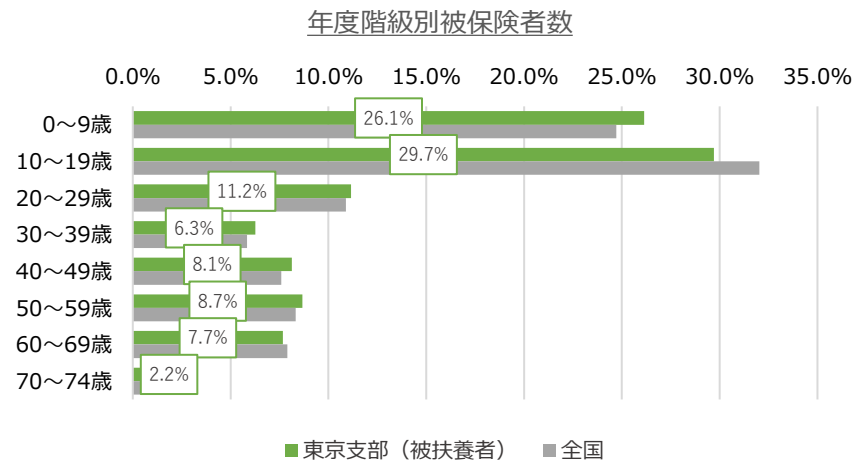
## ● 被保険者

	総数 (人)	構成割合		構成割合
		男性	女性	
15～19歳	9,529	4,953	4,576	0.2%
20～29歳	754,533	336,638	417,895	17.4%
30～39歳	930,231	465,676	464,555	21.5%
40～49歳	968,942	517,244	451,698	22.4%
50～59歳	989,074	522,542	466,532	22.8%
60～69歳	544,603	340,986	203,617	12.6%
70～74歳	133,531	93,734	39,797	3.1%
総数	4,330,443	2,281,773	2,048,670	100.0%



## ● 被扶養者

	総数 (人)	構成割合		構成割合
		男性	女性	
0～9歳	484,671	248,731	235,940	26.1%
10～19歳	550,763	281,701	269,062	29.7%
20～29歳	206,797	98,347	108,450	11.2%
30～39歳	116,133	16,166	99,967	6.3%
40～49歳	150,641	7,582	143,059	8.1%
50～59歳	160,843	6,643	154,200	8.7%
60～69歳	142,307	8,577	133,730	7.7%
70～74歳	41,566	3,902	37,664	2.2%
総数	1,853,721	671,649	1,182,072	100.0%



・被保険者数は、男女別では、20～29歳は女性が多く、30～39歳以降は男性が多い。  
 年齢階級別に全国と比較すると、20～29歳、30～39歳は全国よりも多く、比較的若年齢層が高い。

# 協会けんぽ東京支部の業態大分類別事業所数・被保険者数（令和7年度末時点）

業態名称（業態大分類）	事業所数（社）					被保険者数（人）				
	全国		東京		割合の差 (東京の割合－全国の割合)	全国		東京		割合の差 (東京の割合－全国の割合)
	数	割合	数	割合		数	割合	数	割合	
農林水産業	42,757	1.82%	950	0.23%	-1.59%	274,981	1.06%	6,166	0.14%	-0.92%
鉱業、採石業、砂利採取業	2,890	0.12%	93	0.02%	-0.10%	35,818	0.14%	1,256	0.03%	-0.11%
建設業	408,937	17.40%	37,815	9.11%	-8.29%	2,720,684	10.51%	235,685	5.28%	-5.23%
製造業	225,110	9.58%	22,925	5.52%	-4.05%	4,014,192	15.51%	294,958	6.61%	-8.90%
電気・ガス・熱供給・水道業	10,952	0.47%	989	0.24%	-0.23%	111,954	0.43%	15,868	0.36%	-0.08%
情報通信業	87,328	3.72%	39,908	9.61%	5.90%	644,662	2.49%	269,789	6.04%	3.55%
運輸業、郵便業	69,258	2.95%	6,986	1.68%	-1.26%	1,746,391	6.75%	197,960	4.43%	-2.31%
卸売・小売業	370,698	15.77%	59,920	14.44%	-1.34%	3,554,339	13.73%	499,274	11.18%	-2.55%
金融・保険業	22,165	0.94%	4,067	0.98%	0.04%	157,408	0.61%	41,797	0.94%	0.33%
不動産業、物品賃貸業	207,937	8.85%	47,246	11.38%	2.54%	758,875	2.93%	177,504	3.98%	1.04%
学術研究機関、専門・技術サービス業 ※1	259,307	11.03%	92,856	22.37%	11.34%	1,289,058	4.98%	438,215	9.82%	4.84%
宿泊業、飲食サービス業	115,687	4.92%	24,698	5.95%	1.03%	1,041,752	4.02%	279,421	6.26%	2.23%
生活関連サービス業、娯楽業	105,043	4.47%	22,885	5.51%	1.04%	815,398	3.15%	180,507	4.04%	0.89%
教育・学習支援業	30,187	1.28%	6,364	1.53%	0.25%	352,285	1.36%	90,230	2.02%	0.66%
医療・福祉	200,080	8.51%	21,558	5.19%	-3.32%	4,778,233	18.46%	480,161	10.76%	-7.70%
複合サービス事業	9,373	0.40%	666	0.16%	-0.24%	170,078	0.66%	7,592	0.17%	-0.49%
サービス業 ※2	181,321	7.71%	25,122	6.05%	-1.66%	3,406,011	13.16%	1,244,721	27.88%	14.72%
公務	1,282	0.05%	35	0.01%	-0.05%	13,705	0.05%	3,043	0.07%	0.02%
総計	2,350,312	100.00%	415,083	100.00%	0.00%	25,885,824	100.00%	4,464,147	100.00%	0.00%

※1. 事業所数・被保険者数ともに約90%を業態小分類「専門・技術サービス」が占める。また、業態小分類「専門・技術サービス」において被保険者数の多い事業所の事業内容例としては、保育所・発達支援施設の運営業、電気保安業、経営コンサルタント業、古物買取業など、他の業態に分類できなかったためこの業態を選択したと思われるものが多い。

※2. 被保険者数の70%～80%程度を業態小分類「職業紹介・労働者派遣業」及び「その他の対事業所サービス業」が占める。なお、「その他の対事業所サービス業」についても被保険者数の多い事業所の事業内容は労働者派遣業としての側面を持つものが多い。

## <目次>

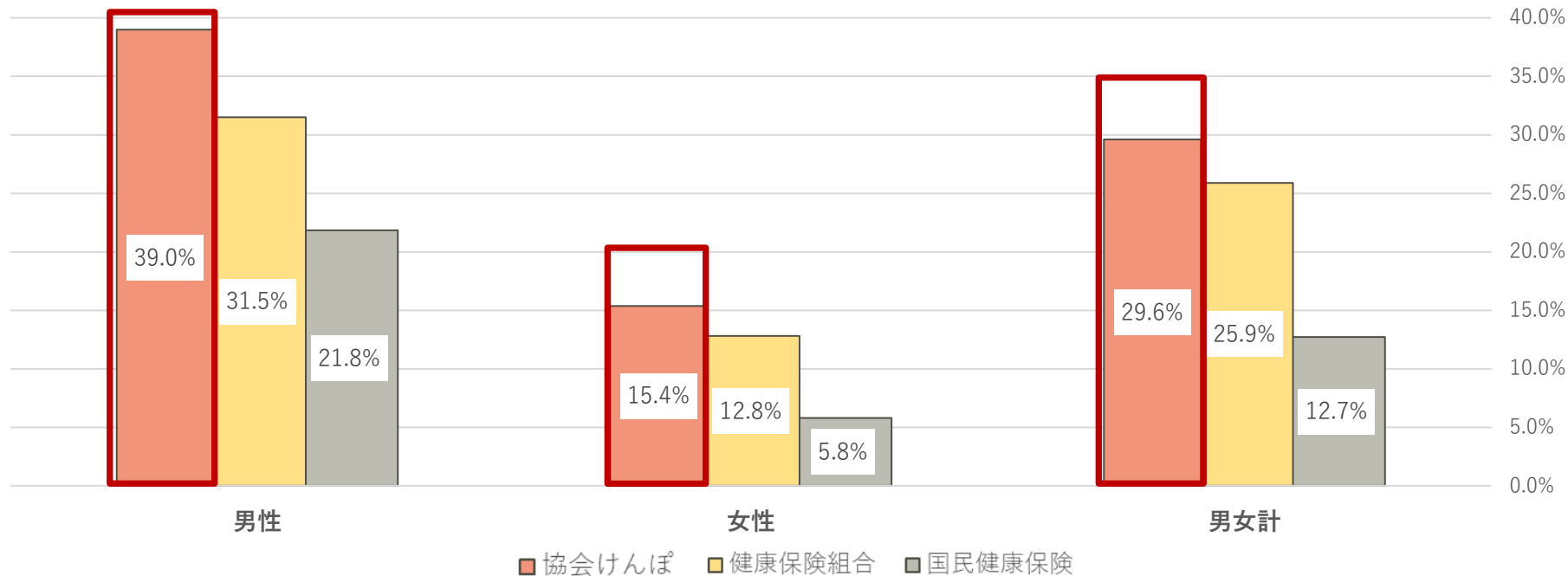
1. 協会けんぽ（東京支部）の概要
2. 協会けんぽにおける喫煙の現状
3. 喫煙対策について

# 喫煙者の割合（協会けんぽ・健康保険組合・国民健康保険）

## 保険者別比較（令和5年度健診／被保険者40-74歳／男女別）

【抽出条件】

・問診票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者



- ・ 保険者別比較では、協会けんぽの喫煙者割合が高い。  
また、男女別の比較においても、同様に協会けんぽの喫煙者割合が高い。

### 【出典】

○全国健康保険協会（協会けんぽ）

・情報システムより

対象保険者数： 47支部 対象者：10,751,282人（男性：6,484,836人 ・ 女性：4,266,446人）

○健康保険組合

・健康保険組合連合会ホームページより（令和5年度業態別に見た被保険者の健診状態に関する調査）

対象保険者数： 453組合 対象者：3,088,866人（男性：2,168,788人 ・ 女性：92,078人）

○国民健康保険

・公益社団法人国民健康保険中央会ホームページより（市町村国保特定健康診査・特定保健指導実施状況報告書（令和5年度））

対象保険者数：1,736組合 対象者：6,094,989人（男性：2,624,368人 ・ 女性：573,203人）

# 喫煙者の割合（協会けんぽ47支部）

【抽出条件】

・問診票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者

## 協会けんぽ47支部別比較（令和6年度健診／加入者全年齢／男女別）

支部	喫煙者の割合				加入者健診受診率 (参考)
	男性	女性	全体 (年齢調整後)	地域差指数-1	
北海道支部	43.6%	21.5%	34.6%	0.260	56.7%
青森支部	44.5%	18.2%	32.9%	0.199	63.6%
岩手支部	43.7%	14.5%	31.2%	0.136	66.3%
宮城支部	43.9%	15.6%	32.0%	0.167	66.2%
秋田支部	43.5%	15.0%	31.1%	0.132	64.9%
山形支部	40.9%	12.9%	28.5%	0.038	80.2%
福島支部	44.0%	15.7%	31.5%	0.147	63.4%
茨城支部	41.7%	15.0%	30.3%	0.102	58.6%
栃木支部	41.9%	15.0%	30.1%	0.095	63.6%
群馬支部	39.9%	14.0%	29.2%	0.065	57.8%
埼玉支部	40.8%	15.5%	29.8%	0.085	51.1%
千葉支部	42.1%	16.0%	30.8%	0.121	51.5%
東京支部	34.7%	12.5%	23.3%	-0.151	54.4%
神奈川支部	39.6%	14.8%	28.8%	0.048	51.7%
新潟支部	39.8%	12.9%	28.3%	0.031	72.9%
富山支部	37.5%	11.2%	26.3%	-0.042	74.3%
石川支部	37.6%	12.6%	26.2%	-0.047	68.9%
福井支部	37.8%	10.7%	25.4%	-0.074	70.6%
山梨支部	41.6%	14.9%	29.9%	0.090	70.1%
長野支部	38.5%	11.9%	26.7%	-0.027	66.3%
岐阜支部	37.5%	11.4%	26.4%	-0.037	66.3%
静岡支部	38.0%	12.9%	26.9%	-0.019	63.1%
愛知支部	37.3%	12.5%	27.0%	-0.017	58.0%
三重支部	38.6%	12.5%	27.1%	-0.014	66.1%

支部	喫煙者の割合				加入者健診受診率 (参考)
	男性	女性	全体 (年齢調整後)	地域差指数-1	
滋賀支部	37.1%	10.8%	25.2%	-0.081	65.1%
京都支部	34.1%	11.9%	24.0%	-0.125	64.3%
大阪支部	36.6%	14.3%	26.9%	-0.021	51.6%
兵庫支部	36.4%	11.4%	25.2%	-0.084	58.2%
奈良支部	37.3%	12.9%	26.0%	-0.053	58.9%
和歌山支部	38.9%	15.1%	27.7%	0.007	61.7%
鳥取支部	38.6%	10.7%	25.9%	-0.058	62.0%
島根支部	37.8%	9.6%	25.4%	-0.075	73.0%
岡山支部	36.4%	11.4%	25.1%	-0.086	66.5%
広島支部	37.0%	12.5%	26.3%	-0.044	61.1%
山口支部	38.0%	12.0%	26.8%	-0.025	61.1%
徳島支部	35.2%	11.9%	24.5%	-0.108	56.8%
香川支部	36.6%	11.4%	26.1%	-0.049	58.1%
愛媛支部	37.2%	11.4%	26.0%	-0.053	63.7%
高知支部	40.2%	15.7%	29.2%	0.064	69.5%
福岡支部	42.0%	15.2%	29.8%	0.087	59.0%
佐賀支部	43.3%	13.9%	30.4%	0.106	59.5%
長崎支部	42.7%	12.4%	29.2%	0.062	59.0%
熊本支部	41.8%	13.1%	28.5%	0.040	64.0%
大分支部	41.0%	12.4%	28.3%	0.031	65.2%
宮崎支部	43.0%	13.3%	29.5%	0.073	60.7%
鹿児島支部	40.7%	11.8%	28.2%	0.028	54.4%
沖縄支部	35.5%	11.9%	24.5%	-0.107	59.9%

協会けんぽ支部別で比較すると、東京支部加入者全体（年齢調整後）の喫煙者の割合は最も低い。地域差指数においても全国平均より低い水準であることがわかる。

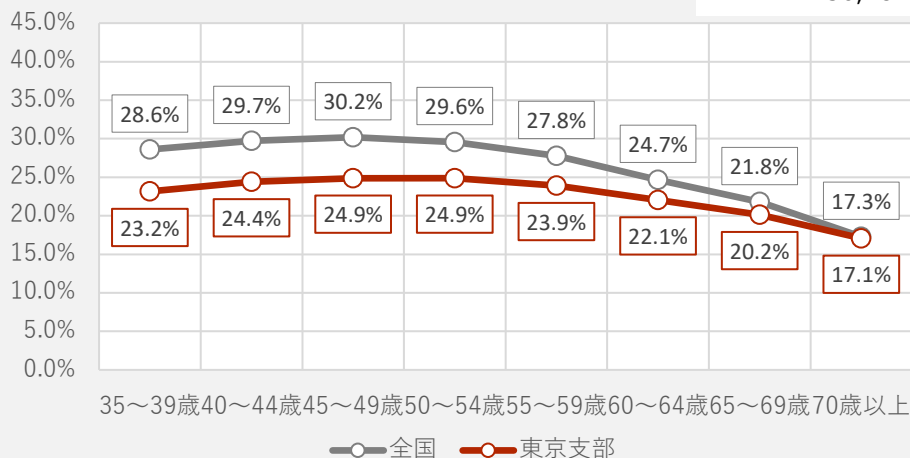
- ・年齢調整とは、年齢構成の違いによる影響を除いて比較したもの
- ・地域差指数-1とは、地域差を表す指標として、指標を年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの
  - 0より大きい数値の場合（プラスの場合）：全国平均より高い水準にある
  - 0より小さい数値の場合（マイナスの場合）：全国平均より低い水準にある

# 喫煙者の割合（協会けんぽ東京支部）

## 年齢階級別比較（令和6年度健診／東京支部加入者35-74歳／男女別）

【図1】喫煙者の割合（年齢階級別・男女計）

N = 1,943,158  
n = 456,184



【抽出条件】

○対象者

- ・ 東京支部 加入者(35-74歳)

○健診実施者 (N値)

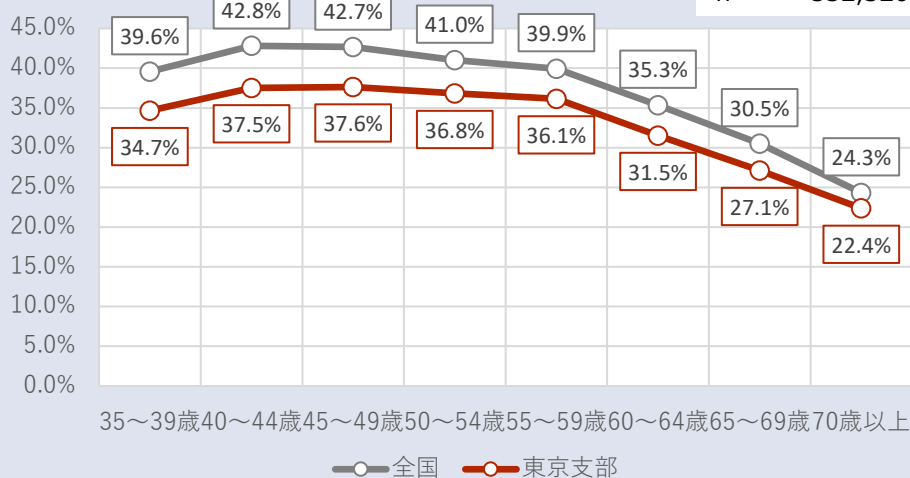
- ・ 生活習慣病予防健診, 事業者健診 (被保険者)
- ・ 特定健康診査 (被扶養者)

○集計項目 (n値)

- ・ 問診票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者  
※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者

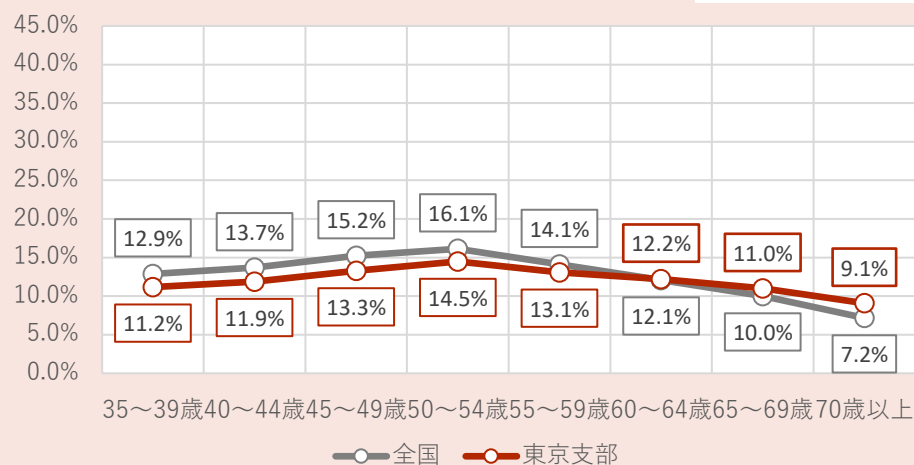
【図2】喫煙者の割合（年齢階級別・男性）

N = 961,567  
n = 332,326



【図3】喫煙者の割合（年齢階級別・女性）

N = 981,591  
n = 123,858

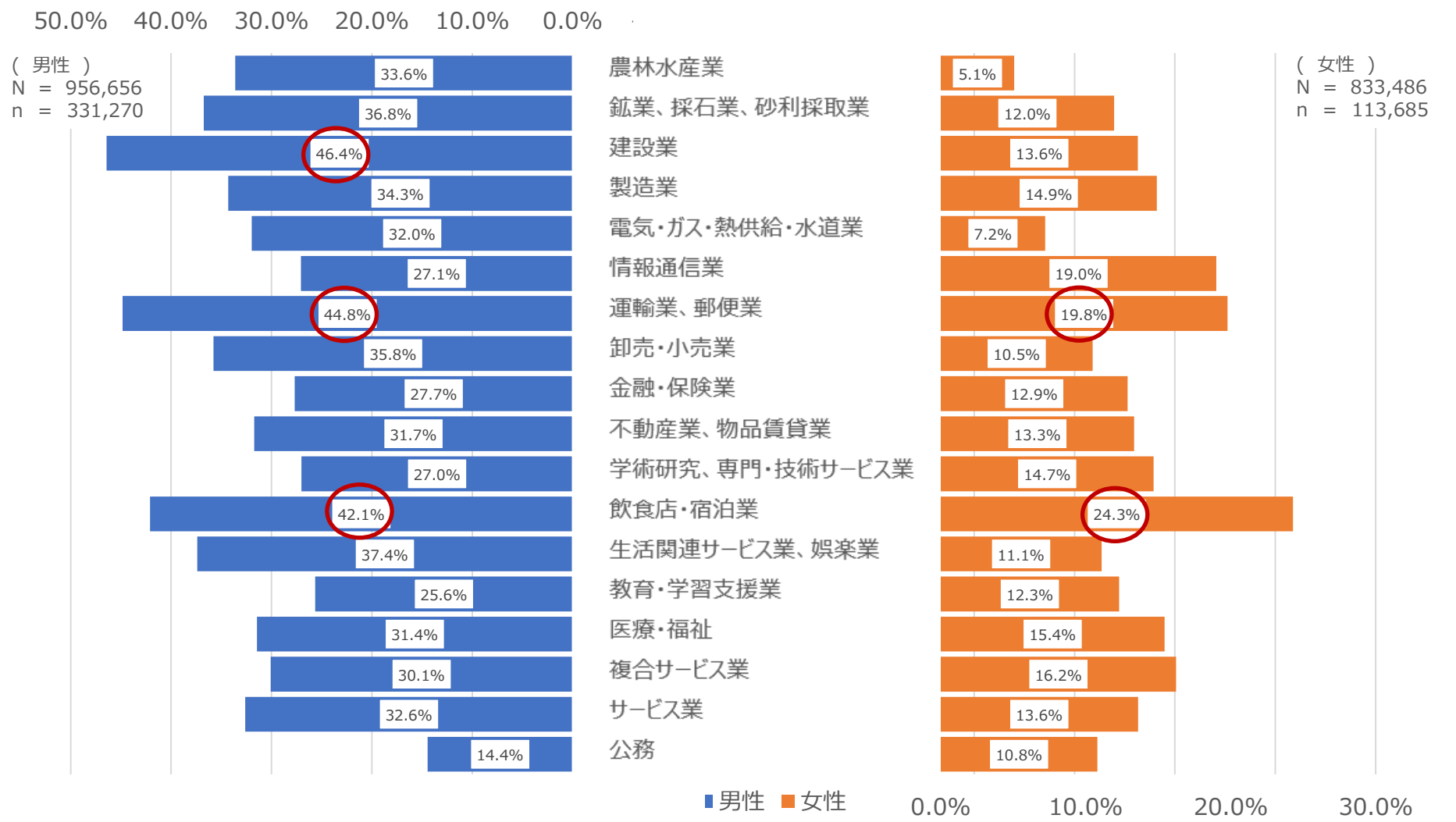


- ・ 東京支部加入者の喫煙者の割合は、全国平均よりも低い(図1より)。加入者を男女別で見ると、男性の割合が高い。
- ・ 加入者を年齢階級別で見ると、男性は「40～49歳」の割合が最も高く、以降は徐々に減少傾向となっている(図2より)。
- ・ 女性は、「50～54歳」割合が最も高く、「60歳～70歳以上」は全国平均よりも高くなっている(図3より)。

# 喫煙者の割合（協会けんぽ東京支部業態別）

【抽出条件】  
 ○問診票喫煙実施者（N値）  
 ○問診票喫煙回答者（n値）  
 ・質問「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者

## 業態別比較（令和6年度健診／東京支部被保険者35-74歳／男女別）



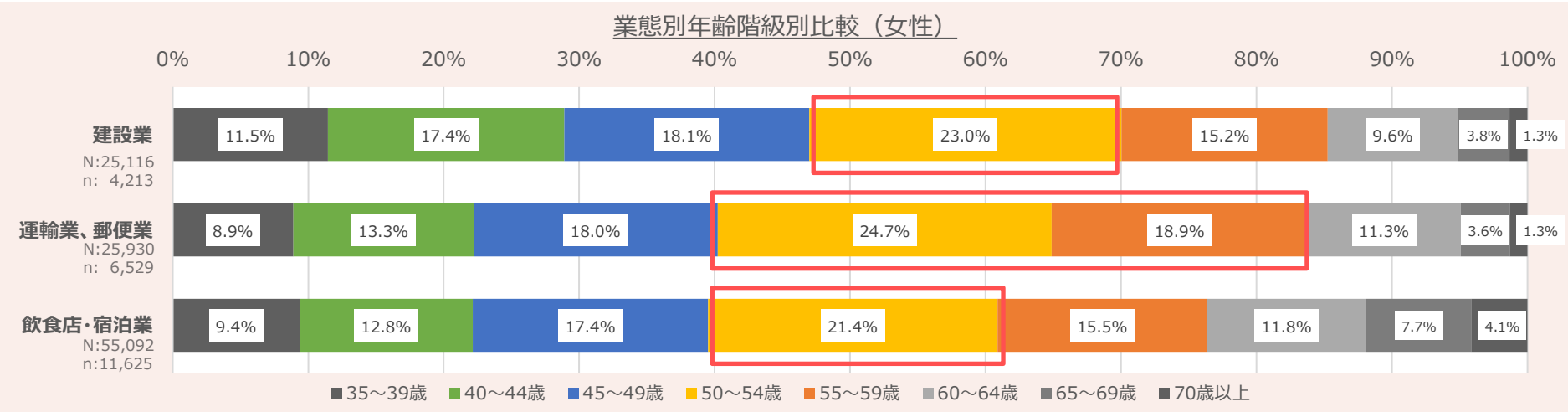
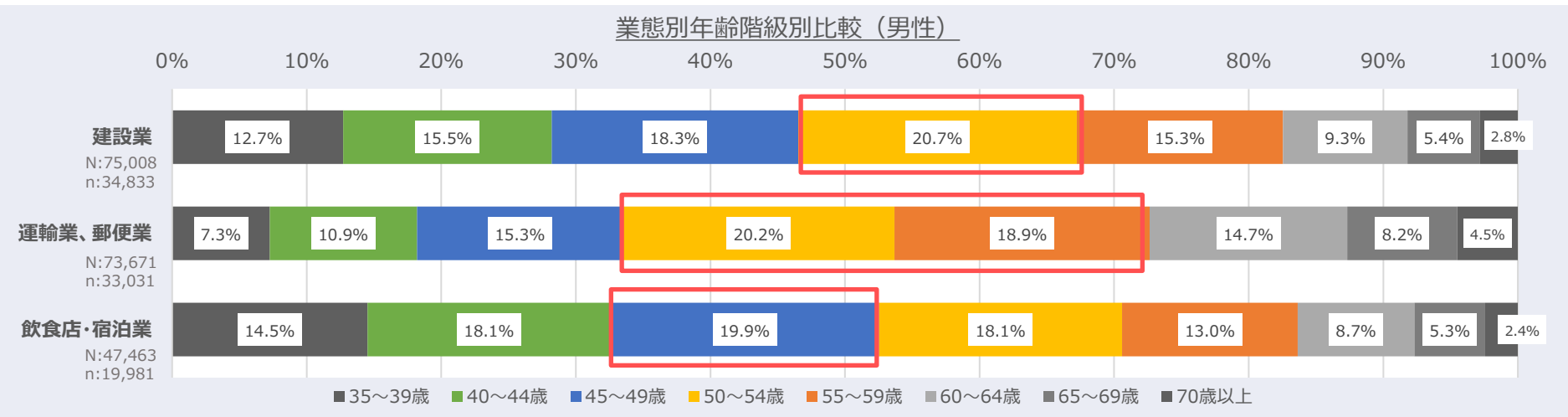
・ 男女別で見ると、男性と女性ともに「運輸業、郵便業」「飲食店、宿泊業」の割合が高い。男性は「建設業」が最も喫煙者割合が高い。

- ※ 建設業 → 総合工事業・職別工事業・設備工事業（例：土木建築・大工工事等）
- ※ 運輸業、郵便業 → 主として自動車等により貨物の運送を行う事業所・その他運輸に付帯するサービス業等（例：一般貨物自動車運送業・鉄道業・倉庫業等）
- ※ 飲食店、宿泊業 → 飲食店・宿泊または宿泊と食事を提供する事業所（例：食堂・レストラン・旅館・ホテル等）

# 喫煙者の割合（協会けんぽ東京支部業態別）

【抽出条件】  
 ○問診票喫煙実施者（N値）  
 ○問診票喫煙回答者（n値）  
 ・質問「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者

## 業態別年齢階級別比較（令和6年度健診／東京支部被保険者35-74歳／男女別）

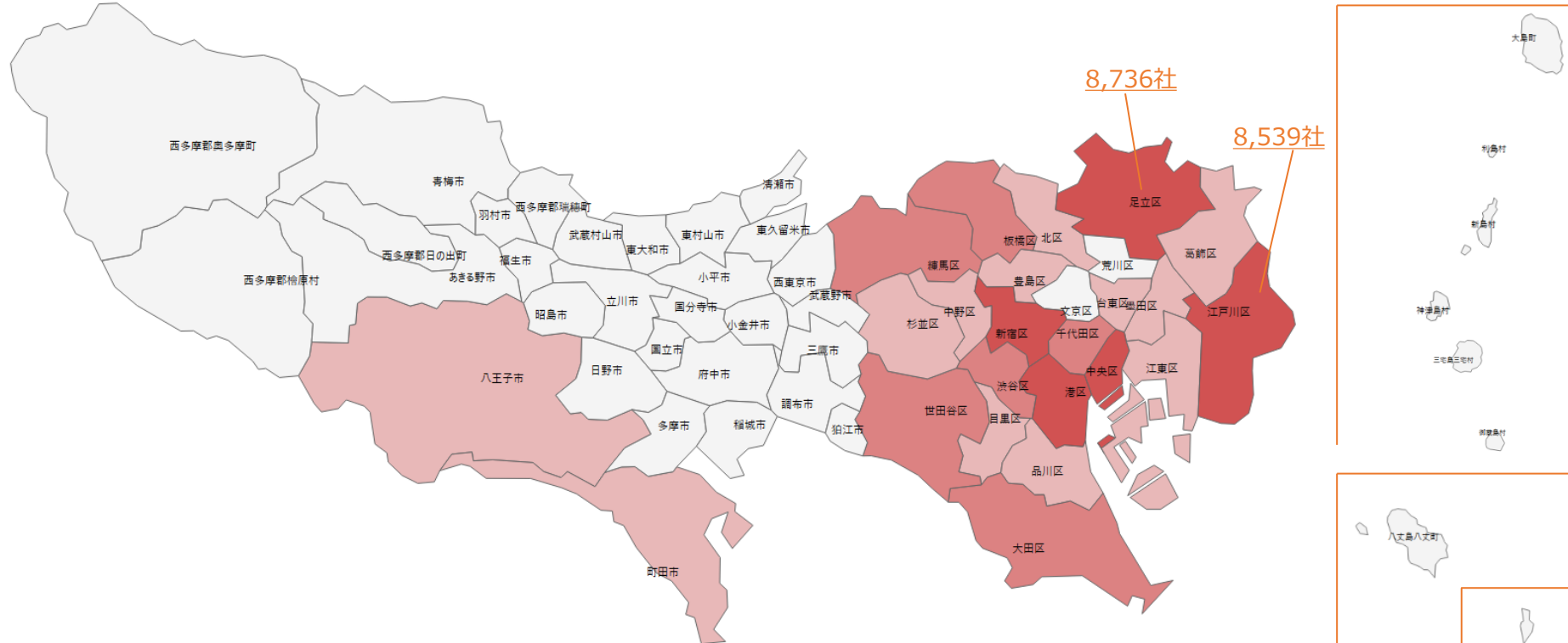


業態別比較にて喫煙割合の高い「建設業」「飲食店、宿泊業」「運輸業、郵便業」の性別年齢階級別に比較。

- ※ 建設業 → 総合工事業・職別工事業・設備工事業（例：土木建築・大工工事等）
- ※ 運輸業、郵便業 → 主として自動車等により貨物の運送を行う事業所・その他運輸に附帯するサービス業等（例：一般貨物自動車運送業・鉄道業・倉庫業等）
- ※ 飲食店、宿泊業 → 飲食店・宿泊または宿泊と食事を提供する事業所（例：食堂・レストラン・旅館・ホテル等）

# 喫煙者の割合（協会けんぽ東京支部業態別）

## 業態別地域別比較（建設業・運輸、郵便業・飲食店、宿泊業の合計／令和6年度末時点）



	建設業	運輸業 郵便業	飲食店 宿泊業	3業態 合計	全業態 合計	3業態 割合
江戸川区	5,887	1,560	1,092	8,539	25,688	33.2%
足立区	6,196	1,458	1,082	8,736	26,122	33.4%
中央区	1,954	2,486	4,390	8,830	67,048	13.1%
新宿区	2,716	1,653	4,464	8,833	61,063	14.4%
港区	2,027	2,758	5,937	10,722	93,931	11.4%

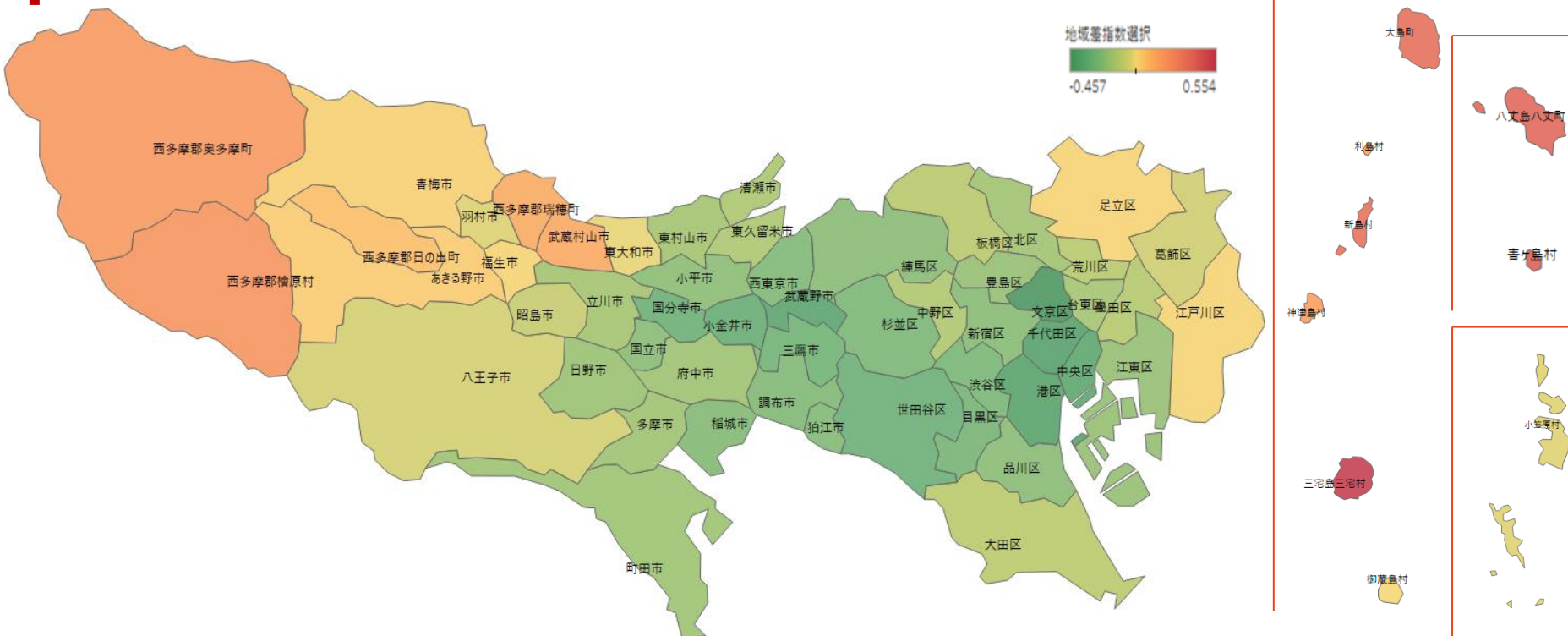
※ 建設業 → 総合工事業・職別工事業・設備工事業（例：土木建築・大工工事等）  
 ※ 運輸業、郵便業 → 主として自動車等により貨物の運送を行う事業所・その他運輸に付帯するサービス業等（例：一般貨物自動車運送業・鉄道業・倉庫業等）  
 ※ 飲食店、宿泊業 → 飲食店・宿泊または宿泊と食事を提供する事業所（例：食堂・レストラン・旅館・ホテル等）

# 喫煙者の割合（地域別・地域差指数-1）

【 抽出条件 】

・問診票「現在、たばこを習慣的に吸っている。」に対し「はい」と回答した者

## 地域別比較（令和6年度健診／東京支部加入者のうち東京都在住者別集計）



### 【 0より大きい数値となった要因として考えられる事項】

○23区地域（江戸川区,足立区）について

・事業所業態別の被保険者割合において、他の23区地域と比較すると、喫煙率の割合が高い業種である「建設業」「運送業、郵送業」「飲食店、宿泊業」の割合が約30%を占めている。

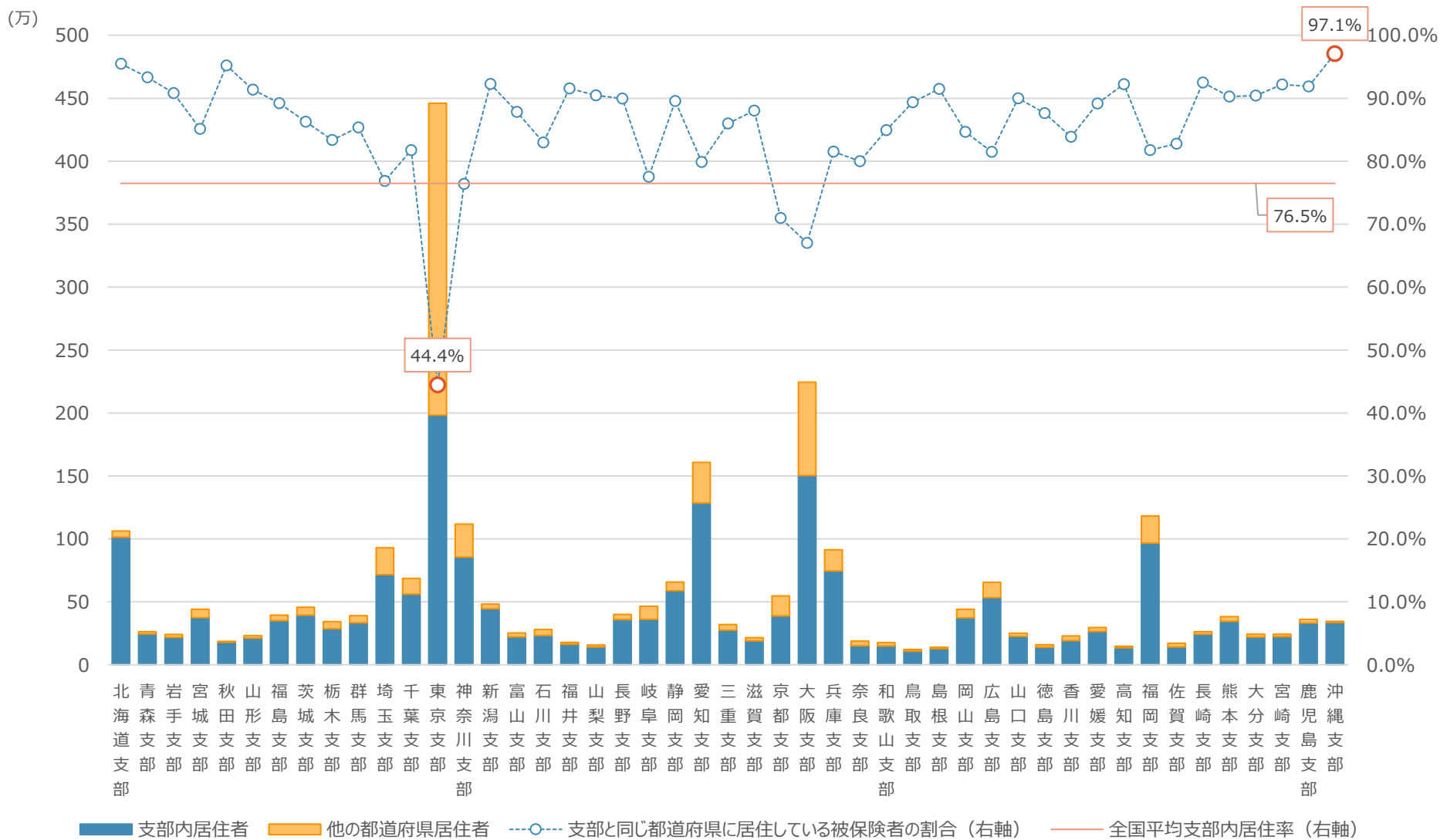
○島しょ地域について

・事業所業態別の被保険者割合においては、「建設業」の割合が最も高い。

地域差指数-1とは、医療費等の地域差を表す指標として、指標を年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの

- 0より大きい数値の場合（プラスの場合）： 全国平均より高い水準にある
- 0より小さい数値の場合（マイナスの場合）： 全国平均より低い水準にある

# (参考) 支部と同じ都道府県に居住している被保険者の割合 (2026年2月時点)



支部被保険者のうち支部と同じ都道府県に居住している者の割合は支部によって異なる。東京支部被保険者は、東京都に居住している者は44.4%と少なく、他支部と比較するとひと際特徴的である。

## <目次>

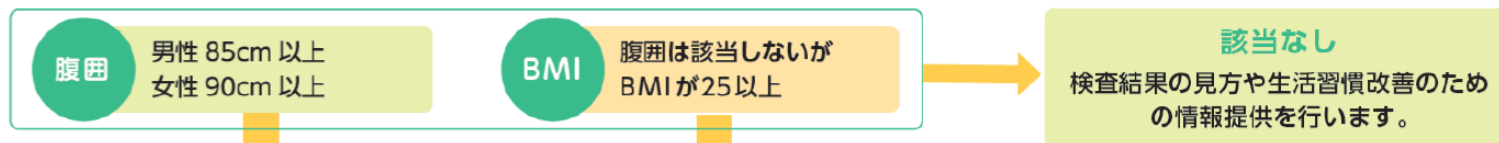
1. 協会けんぽ（東京支部）の概要
2. 協会けんぽにおける喫煙の現状
3. 喫煙対策について

## 1. 特定保健指導での個別禁煙指導

- ✓ 特定保健指導の対象者選定の項目に喫煙が入っている「**血圧、血糖、脂質、喫煙**」
- ✓ “禁煙”が生活習慣改善のアウトカム目標の項目の一つになっている

### 【 特定保健指導対象者の選定基準 】

#### STEP.1 内臓脂肪蓄積のリスク判定



#### STEP.2 追加リスク数の判定

血圧	収縮期血圧値（上の血圧）130mmHg 以上、または拡張期血圧値（下の血圧）85mmHg 以上
脂質	中性脂肪値 150mg/dL 以上、または HDL コレステロール値 40mg/dL 未満
血糖	空腹時血糖値（やむを得ない場合は随時血糖値）100mg/dL 以上、または HbA1c5.6%（NGSP 値）以上
喫煙	上記 3 つのうち 1 つでも当てはまる方はカウントされます

該当する項目数 ↓ 特定保健指導の対象者となります ↓ 該当する項目数



- ※ 服薬中の者については、特定保健指導の対象としない。
- ※ 前期高齢者（65歳以上75歳未満）については、積極的支援の対象となった場合でも動機付け支援とする。
- ※ BMI=体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))
- ※ 令和6年4月以降に健診を受けた場合、脂質リスクの判定値は「空腹時中性脂肪値150mg/dL以上（やむを得ない場合は随時中性脂肪値175mg/dL以上）又はHDLコレステロール値40mg/dL未満」

➡ **ごく一部の対象者へのアプローチに留まっている**

## 2. 受動喫煙の啓発・周知

- ✓ 受動喫煙防止ポスター・リーフレットによる啓発（東京都医師会と協会けんぽ東京支部連名）
- ✓ 主な配付先：自治体（227団体・約2,300枚）、関係団体（287団体・約73,000枚）、健康企業宣言事業所（約3,300枚）、健康経営セミナー（約200枚）、その他会議等（約1,200枚）



ポスター (A3)



リーフレット (A4・二つ折り)

(参考) 令和7年5月に都内自治体へ配付した受動喫煙防止啓発ポスター等の掲示例





## 1. 喫煙者・非喫煙者を問わず、受動喫煙について広く周知する

- ✓ 東京都の中で喫煙率の高い地域をターゲットに啓発等を行う  
例) ・自治体との連携  
・子どものいる加入者への受動喫煙の情報提供 など
- ✓ 建築業、運送業・郵便業、飲食店・宿泊業など、特に喫煙率の高い業界団体と連携した啓発が重要

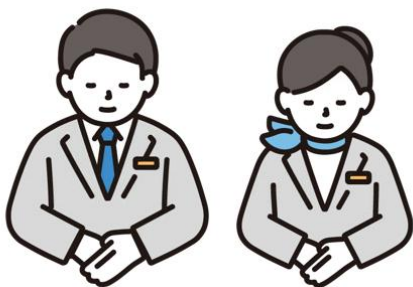
## 2. 喫煙率の高い事業所へのアプローチ

- ✓ 23区と多摩地域を担当するグループを分けて、事業所訪問による健康課題解決の取組・サポートを行っている  
事業所のニーズを踏まえつつ、喫煙率の高い事業所への介入を強化
- ✓ 事業主・担当者が主体となった事業所での喫煙対策・環境づくりをサポート

★ 産業医との連携は課題

例) サポートツール





ご清聴ありがとうございました

協会けんぽ東京支部

 検索



全国健康保険協会東京支部